

raffino 片開きドア

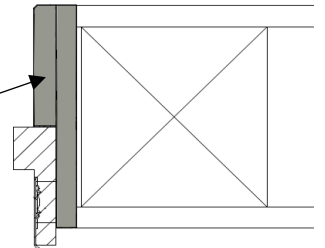
施工説明書

施工上のご注意 **安全のため、下記注意事項を必ずお守りください。**

- ◆ 枠を躯体へ取り付ける際は、水平・垂直になっているか確認してください。
- ◆ 枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください
- ◆ 枠の組み立てには、同梱のビスを使用してください。
- ◆ ラフィーノは室内専用です。屋外や浴室などの水がかかりやすい場所や他の用途へのご使用はおやめください。
- ◆ 直射日光、湿気の多い場所を避けて保管してください。また、立てかけた状態での保管も避けてください。反り、ねじれの原因となります。

本品は薄枠仕様のため、クロス下地として合板 (t=12・現場手配) が必要です。予めご用意をお願い致します。

クロス下地
合板 t=12



内容品の確認

枠セット	内容品
縦枠 (吊元側)	1
縦枠 (ラッチ側)	1
上枠	1
内法定規	1
施工説明書	1

部品箱	内容品
枠取り付けビス	1式
ピボットヒンジ	1式
レバーハンドル	1式
表示錠・間仕切り錠	1式
(オプション)	
戸当り受け	1式

扉本体

(ラッチケース・マグネット戸当り・ドアダンパー取付済み)	1
------------------------------	---

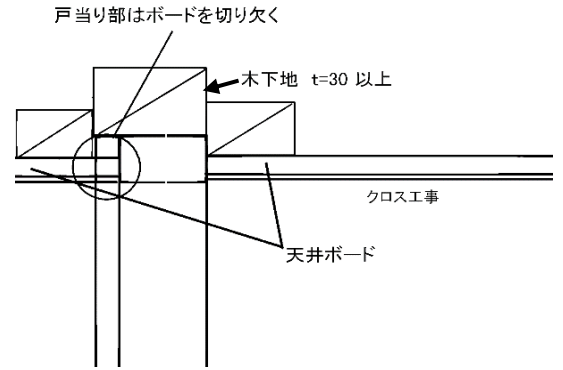
開口寸の確認

◆天井高

床の仕上げ面から天井の仕上げ面までの高さが CH=2,400 または CH=2,500 となるように天井下地を施工してください。

上枠取付部には厚さ30mm以上の木下地を施工してください。

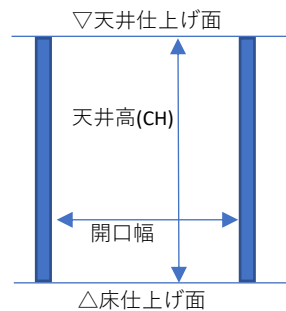
天井のボードは、枠の施工後に施工してください。



◆開口幅

下記開口幅（枠下地合板の厚みを含んだ寸法になっています）+5mmで開口を設定してください。

枠外W	開口幅
650	655
765	770
800	805



注意

天井高・開口幅は必ず守ってください。

守られない場合、ドアの吊り込みが不安定になり、脱落や転倒の恐れがあります。

縦枠の下端カット

縦枠の下部に、12mmの伸び寸が設定してあります。

現場の天井高に合わせて、12mm以内でカットしてください。

※縦枠の上端はカットしないでください。



注意

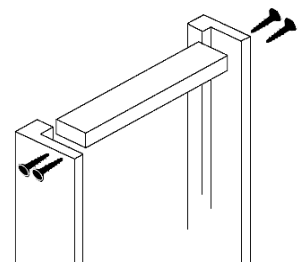
縦枠を12mm以上カットしないでください。

守られない場合、ドアの吊り込みが不安定になり、脱落や転倒の恐れがあります。

枠の組立

縦枠と上枠を、付属のビスで組み立てます。

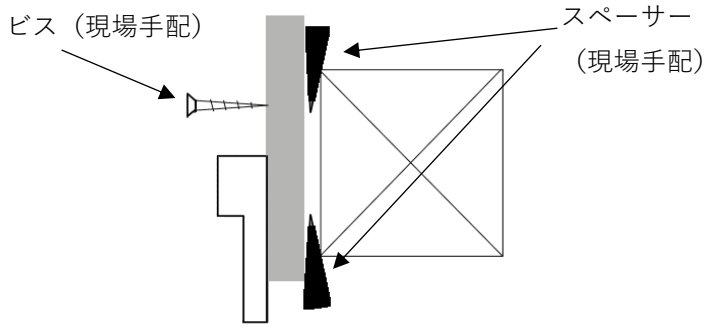
ドアダンパーが吊元側に来るように注意して組み立ててください。



枠の調整・固定

水平器・下げ振り・レーザー墨出し器、および内法定規などを用いて、枠の鉛直・枠内寸法に注意してスペーサー（かい木）で調整しながら躯体に取り付けます。

躯体への取り付けは、下地合板にビス（現場手配）を打ってください。

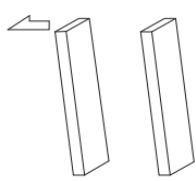


注意

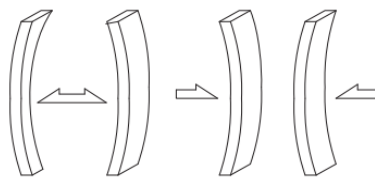
ビスは長さ**38mm**以上のものを使用し、**500mm**以下のピッチで施工してください。

また、スペーサーは必ず使用してください。枠やドアの脱落や転倒の恐れがあります。

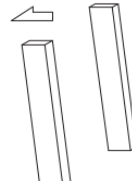
縦枠施工の際は水平器・下げ振り・レーザー墨出し器、および内法定規などを用いて鉛直・水平・枠内寸法が出ていることを確認し、下図のようにならないようご注意ください。



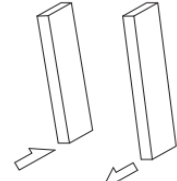
左右の傾き



縦枠の反り



前後の傾き

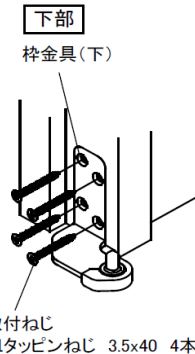
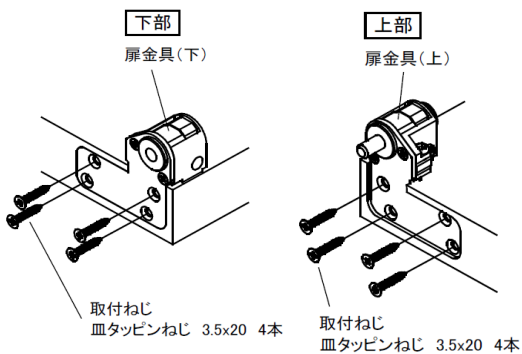


ねじれ

丁番の取り付け

枠・扉の加工穴に金具をはめ込み、取り付けネジで固定します。

金具に上下の記載がありますので注意してください。

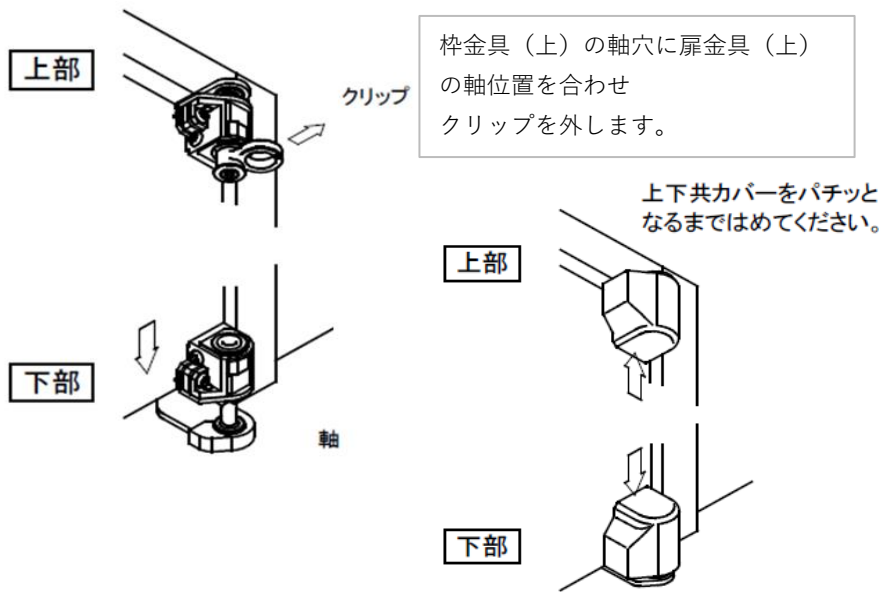


注意

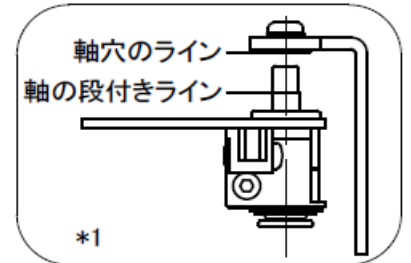
必ず指定のビスを用いて下さい。他のビスを使用すると扉の脱落・垂れ下がりの原因となります。

扉の吊込み

1. 枠金具（下）の軸に扉金具（下）をはめ込みます。
2. 金具（上）の軸受け穴に扉金具（上）の軸をはめ込みます。
3. 上下のキャップをはめ込みます。



*1. 軸の段付きラインが軸穴のラインまで入っているかを必ず確認して下さい。



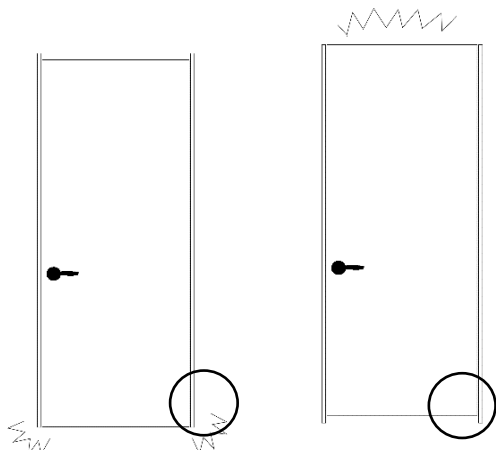
- ・調整はネジを一気に回さず「微調整→開閉して確認」を繰り返して行ってください。
- ・調整ネジの締めすぎ緩め過ぎは故障の原因となります。少しずつ回してください。

建付け調整

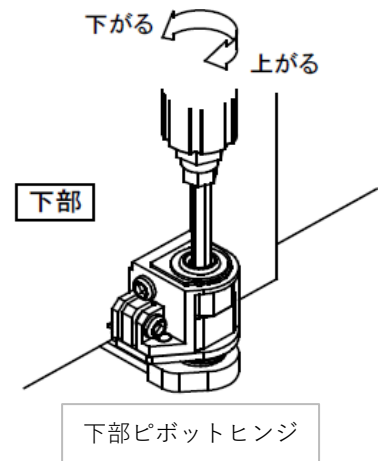
上下調整

- ◆ ドア下部が床に当たる時
- ◆ ドア下部が天井に当たる時

下ピボットの軸上のネジで調整します。

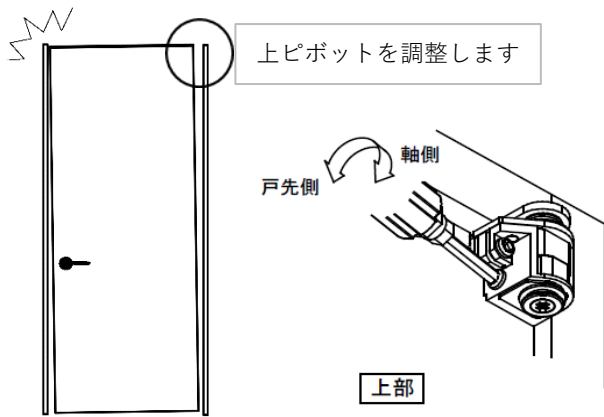


- ・ 扉を上げる→右回し
- ・ 扉を下げる→左回し

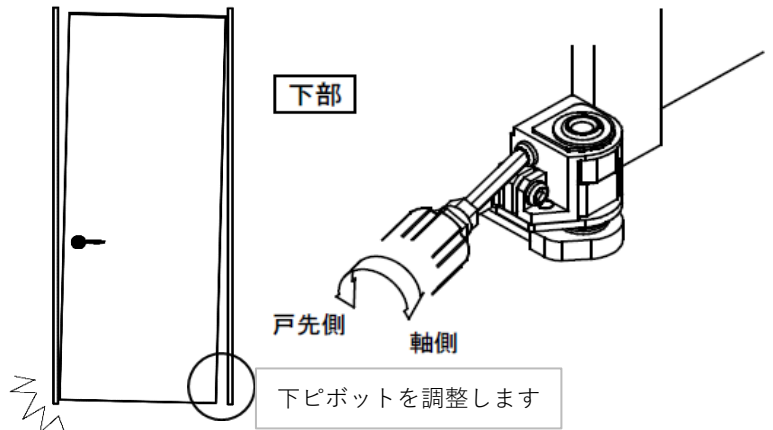


左右調整

◆ドア上部が縦枠に当たる時



◆ドア下部が縦枠に当たる時

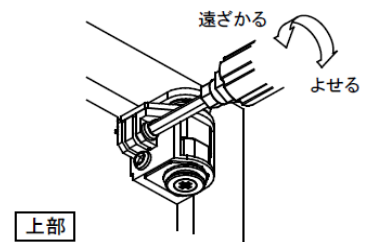
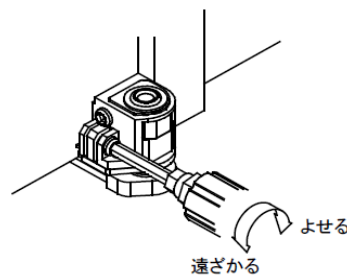
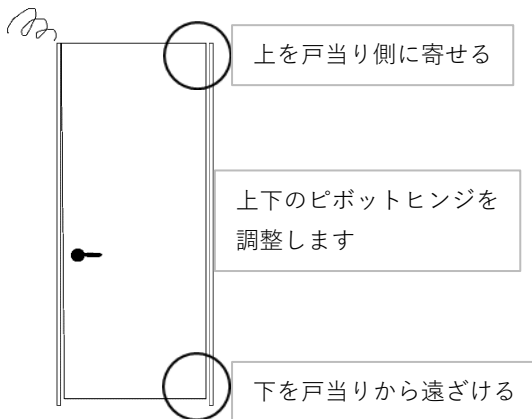


ピボットヒンジ側面の調整ネジで調整します。

- ・扉を吊元側に寄せる→右回し
- ・扉を戸先側に寄せる→左回し

前後調整

◆ドア下部は戸当りにあっているが、上部が当たっていない時



ピボットヒンジ正面の調整ネジで調整します。

- ・戸当り側に寄せる→右回し
- ・戸当りから遠ざける→左回し

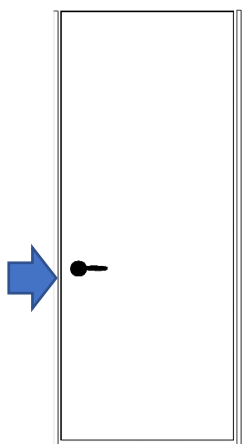
ラッチ受けの調整

◆ラッチがラッチ受けにかからない場合

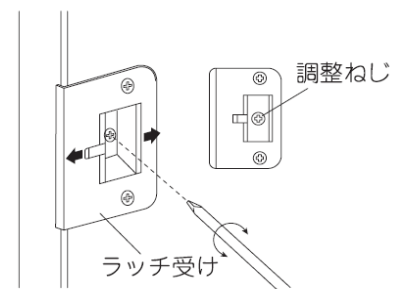
◆閉めた時ドアがガタつく場合

プラスの手回しドライバーで

ラッチ受けの前後調整をします。



必ず手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合、金具破損の原因になります。



内装ドア 取扱説明書

お施主様保管用

※必ずお施主様にお渡しください

この度は弊社内装建具をご採用いただき、ありがとうございます。

◆ご使用前に、この説明書をよくお読み頂き、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読み頂き、安全にお使いください。




◆お読みになった後も、大切に保管してください。

安全上のご注意

事故防止のため、下記事項を必ずお守りください。








人身事故・財産の損害を防止するため、取り扱いについて下記のように警告表示をしています。

誤った取扱をした場合の危険とその程度を、次のレベルで表示しています。

 注意	この表示を無視し誤った取扱をすると、使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。		
	「してはいけない」を示す。		「必ず行っていただく」を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などを指す。

（※2）物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害を指す。

 注意		◆扉の開閉時は、扉と枠のすき間に手を入れないでください。 指を挟んでけがをする恐れがあります。 特に小さなお子様には十分ご注意ください。
		◆扉を開け放した状態にする時は、ドアストッパーなどを併用してください。 強風などで扉が勢いよく閉まる場合があります。 扉にぶつかったり、ガラスが割れてけがをする恐れがあります。
		◆扉のレバーハンドルにぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。 扉が破損したり、脱落によりけがをする恐れがあります。
		◆ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけないでください。 ガラスが割れてけがをする恐れがあります。 特に小さなお子様には十分ご注意ください。
		◆扉の開閉は、必ずレバーハンドルを持って操作してください。 レバーハンドルから手を離したり、ドア先端に手を置くと、扉が急に閉まった場合に 手を挟み、ケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
		◆扉の開閉は静かに行ってください。 乱暴に扱うと、扉の破損や脱落によりけがをする恐れがあります。

お手入れについて

- ◆日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- ◆汚れがひどい場合、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤、もしくは住居用洗剤を浸したものを固く絞って拭き取ってください。その後、乾拭きします。
(洗剤の取扱説明書に従ってください)
- ◆シンナー・ベンジン・アルコール・ワックス・化学雑巾は使用しないでください。

変質や変色の恐れがあります。

ご使用上のお願い

- ◆暖房器具などの熱風や熱気が直接当たらないようにしてください。
扉の反り・変形・変色の原因となります。
- ◆扉や枠に水や油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。
表面の膨れ・シミ・変色の原因となります。
- ◆粘着テープや両面テープなどを貼らないでください。
剥がす際に表面に傷がついたり、化粧シートのはがれが発生する恐れがあります。
- ◆扉の開閉は、必ずレバーハンドルを持って行ってください。
扉を直接持って開閉を繰り返すと、シートの剥がれや汚れ、変色の原因となります。
また、手を挟んでけがをする恐れもありますので絶対にしないでください。
- ◆木質建具の反りについて
木質建具は、空気中の水分を吸収・放出することで伸縮する特性があります。
この現象は、建具周辺の温度・湿度など環境条件の変化により発生する自然現象です。
本品は、一般的な木製建具より反りの出にくい仕様で生産されていますが、建具の室内側と室外側での環境条件が大きく異なる場合、反りが発生することがあります。
- ◆反りの発生を抑えるために
 - ・エアコンや暖房器具をお使いの際は、建具に直接熱風や熱気が当たらないようにご注意ください。
 - ・冷房や除湿、暖房などで室内外の環境条件差を極端に大きくしないようにしてください。
 - ・建具に直接日光が当たる場合、窓辺にカーテンやすだれを設けて日光を遮ってください。
 - ・反りが発生した場合、室内外の環境条件を近づけることで反りが小さくなる場合があります。

オーダードア.com
株式会社 創北

〒485-0802 愛知県小牧市大草5570-121
TEL 0120-472-004 / 0568-47-2001
FAX 0568-47-2005